

# 国際原子力事象評価尺度 (INES)

	レベル	基準 (最も高いレベルが当該事象の評価結果となる)			参考事例 INESの公式評価でないものも含まれている
		基準1: 所外への影響	基準2: 所内への影響	基準3: 深層防護の劣化	
事故	7 (深刻な事故)	放射性物質の重大な外部放出 (ヨウ素131等価で数万TBq (テラベクレル) ※1 相当以上の放射性物質の外部放出)			旧ソ連 チェルノブイリ 発電所事故 (1986年)
	6 (大事故)	放射性物質のかなりの外部放出 (ヨウ素131等価で数千から数万TBq (テラベクレル) 相当の放射性物質の外部放出)			
	5 (所外へのリスクを伴う事故)	放射性物質の限られた外部放出 (ヨウ素131等価で数百から数千TBq (テラベクレル) 相当の放射性物質の外部放出)	原子炉の炉心の重大な損傷		アメリカ スリーマイルアイランド 発電所事故 (1979年)
	4 (所外への大きなリスクを伴わない事故)	放射性物質の少量の外部放出 (公衆の個人の数mSv (ミリシーベルト) 程度の被ばく) ※2	原子炉の炉心のかなりの損傷/ 従業員の致死量被ばく		JCO臨界事故 (1999年)
異常な事象	3 (重大な異常事象)	放射性物質の極めて少量の外部放出 (公衆の個人の十分の数mSv (ミリシーベルト) 程度の被ばく)	所内の重大な放射性物質による 汚染/急性の放射線障害を生じる 従業員の被ばく	深層防護の喪失	
	2 (異常事象)		所内のかなりの放射性物質による 汚染/法定の年間線量限度を 超える従業員の被ばく	深層防護のかなりの劣化	美浜発電所2号機 蒸気発生器伝熱管 損傷事象 (1991年)
	1 (逸脱)			運転制限範囲からの逸脱	もんじゅ ナトリウム漏えい事故 (1995年)
尺度以下	0 (尺度以下)	安全上重要ではない事象			0+ : 安全上重要ではないが、 安全に影響を与え得る事象 0- : 安全上重要ではなく、 安全に影響を与えない事象
評価対象外		安全に関係しない事象			

※1: ベクレル (Bq): 放射性物質の量を表わす単位 (テラは $10^{12}$ =1兆)

※2: シーベルト (Sv): 放射線が人体に与える影響を表わす単位 (ミリは1,000分の1)